

平成24年度公益財団法人瀬戸市文化振興財団事業計画

当財団は、公益財団法人への移行認定を受けることができ、平成24年4月1日から公益財団法人として新たな出発をいたします。

公益財団法人への移行を機に、より一層の公益性を発揮し、市民をはじめ皆様からのより高い信頼を得るとともに、これまで以上に親しまれる事業展開を図ってまいります。

一方、財政を取り巻く環境は厳しい状況下にあることから、財務状況の分析を的確に行いつつ、効率的な経営の改善に努めるとともに、積極的な自主財源の確保にも取り組み、安定的かつ持続的な財団運営を行ってまいります。

引き続き、文化行政の補完を中心とした事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するよう全力で取り組んでまいります。

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

文化芸術の振興を図るため、文化施設を活用して、さまざまな分野の鑑賞事業や体験事業、国際アート事業を実施することで、市民が身近に文化芸術に触れる機会と場を安定的に確保・提供します。

(1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催公演事業）

内容：外部制作の公演を活用し、さまざまなニーズに対応した鑑賞型ホール事業を実施します。文化センターの開館30周年記念事業として、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した公演を開催します。

- ・「葉加瀬太郎クラシックシアターⅡ」（クラシック）
 - ・「松竹大歌舞伎公演」（伝統芸能）
 - ・「浙江京劇団 瀬戸公演」（演劇）
 - ・「オペラペラペラコンサート」（クラシック）
- など7公演を予定

会場：瀬戸市文化センター文化ホール

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催事業）

①美術作品の展示を行う事業

内容：全国巡回展を軸とした美術館企画展事業として、特別企画展、

特別展、企画展を開催します。

- ・特別企画展「全国巡回展 明治・大正時代の日本陶磁」
- ・特別展 「せとものフェスタ 2012 江戸切子」、「全国巡回展 グェッリーノ・トラモンティ展」、「瀬戸国際セラミック & ガラスアート交流プログラム 2012-2013」
- ・企画展 「名和章ガラス展」、「三宅紀保陶芸展」

会場：瀬戸市美術館

②陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業

内容：展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等における作家の「二人展」を中心に開催します。また、交流棟では季節ごとにテーマを設けた企画展を開催します。

- ・展示棟企画展「池元一三・小田橋昌代」、「松田隆作・吉川正道」など
- ・交流棟企画展「My cup 展」、「ガラス作家展」、「食卓の器展」など

会場：瀬戸市新世紀工芸館

③歴史的工芸品の展示を行う事業

内容：伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的名品を展示する企画展を開催します。

- ・企画展「瀬戸染付の皿一文様を楽しむ」、「飾る瀬戸染付・使う瀬戸染付」など

会場：マルチメディア伝承工芸館交流館

(3) 体験活動の機会を提供する事業（体験事業）

内容：やきもの文化・技術を伝えるため、各種体験教室等を開催します。また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体が実施する体験講座を支援します。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

- ・「陶芸体験」 第1・第3日の日曜日（午前・午後）開催
- ・「吹きガラス体験」 年8回開催

(イ) マルチメディア伝承工芸館体験事業

- ・「瀬戸染付に挑戦」、「瀬戸染付体験教室」、「絵付講習会」
年12日（午前・午後）開催

(ウ) 文化体験講座

- ・箏、大正琴、日本舞踊、津軽三味線、ゴスペル、囲碁、水墨画、押し花、茶道など
夏休み期間中に開催

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック＆ガラスアート交流プログラム事業）

- 内容：国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施します。また、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深めるとともに、招聘作家の指導のもと、粘土・ガラスを素材としてさまざまな造形を体験します。あわせて、滞在して制作した作品の展覧会を開催します。

(ア) アーティスト・イン・レジデンス

- 内容：国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を招聘する事業
招聘期間 30日～45日
招聘予定者 3～4名
会場：新世紀工芸館工房棟

(イ) スライド・レクチャー

- 内容：招聘作家の作品・活動を紹介する事業
会場：文化センター文化交流館

(ウ) 公開制作

- 内容：招聘作家の公開による制作過程を紹介する事業
会場：新世紀工芸館工房棟

(エ) ワークショップ

- 内容：招聘作家の指導のもと、造形体験・国際交流を体感する事業
会場：新世紀工芸館工房棟

(オ) 招聘作家作品展

内容：招聘作家の滞在制作作品の展示を行う事業

会場：瀬戸市美術館

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（施設貸与事業）

内容：瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供します。

会場：文化センター文化ホール、文化交流館

新世紀工芸館交流棟

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業

陶芸やガラス工芸等に関する分野の専門知識・技能を習得する研修活動や創作・発表といったコンクールの実施、文化芸術活動を行う団体等への助成を通して、人材育成や主体的な文化芸術活動を支援し、奨励します。

(1) 研修の機会を提供する事業（人材育成事業）

(ア) 工芸分野における人材育成を行う事業

内容：陶芸とガラス工芸の創作活動の場として、技術・技能を習得するための研修を行います。

会場：新世紀工芸館工房棟

(イ) 瀬戸染付技術における人材育成を行う事業

内容：瀬戸染付の技術の保存・伝承を図るため、技術・技能を習得するための研修を行います。

会場：マルチメディア伝承工芸館交流館 ー瀬戸染付研修所ー

(2) コンクール

(ア) 美術作品のコンクールを行う事業（瀬戸市美術展）

内容：日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の7部門で作品を「瀬戸市美術展（第65回）」として広く公募し、優れた作品は表彰するとともに、入賞作品は展示を行います。

会場：文化センター文化交流館

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業（瀬戸市文芸発表会）

内容：俳句・川柳・短歌・詩の部門で作品を「瀬戸市文芸発表会（第

61回)」として公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窯火」を発刊し作品を紹介しています。また、講師を招き記念講演会を開催します。

会場：文化センター文化交流館

(3) 市民文化の発表会（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容：市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱ、詩吟と民謡、謡・仕舞の5部門で「文化の祭典」を開催します。

会場：文化センター文化ホール、文化交流館

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（吟行会）

内容：市内及び瀬戸市近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催します。また、成果は後日に作品集としてまとめ配布します。

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業（ふれあい芸術展など）

内容：日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる展覧会「ふれあい芸術展」を開催します。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催します。

会場：文化センター文化交流館

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業

瀬戸は中世から現代にかけて1000年余の歴史を持つ陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史でもあります。本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報の提供と学習活動の機会の提供をし、市民の文化的向上や郷土愛の増進を図ります。

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容：埋蔵文化財を適切に保護し活用するために必要な措置として、記録保存のための発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調

査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにします。

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査などを行う事業（発掘調査）

- ・発掘調査
東印所A窯跡（市内）、NNG 47号窯跡（日進市）の2遺跡
約1,440㎡
- ・試掘調査
東洞A窯跡・洞窯跡他（市内）
- ・関連事業
荏坪古墳の実測調査（市内）
塚原1号墳移築復元・整備（市内）

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

- ・未整備遺物の整理
品野中部遺跡、石田遺跡、東洞A窯跡・洞窯跡他（以上市内）
NNG 48号窯跡、O-110号窯跡、NNG 47号窯跡（以上日進市）
- ・調査データのデジタル化

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

- ・調査報告書の刊行
品野中部遺跡、石田遺跡、東洞A窯跡・洞窯跡他（以上市内）
NNG 48号窯跡（日進市）

(エ) 発掘調査中に遺構等が検出された遺跡を公開し、説明会を実施する事業

- ・発掘調査を行う遺跡で予定

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容：全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼の種類や時代ごとに抽出可能なデータベースを構築し、その成果を公表します。

(イ) 瀬戸窯を中心とした文化財に関する研究成果の情報提供を行う事業
内容：「埋蔵文化財センター研究紀要 第19輯」を刊行します。
「平成23年度年報」をホームページ上で公開します。

(ウ) 無形文化財を記録保存する事業
内容：無形文化財保持者の陶芸作家・工芸家の作品制作状況から無形文化財技術を約15分にまとめた映像を作成し記録保存するとともに、映像記録をホームページ上で公開します。

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

内容：(イ)の企画展にそった歴史講演会を開催します。

「古瀬戸の成立と展開」（仮称）

会場：瀬戸蔵

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（埋蔵文化財企画展）

内容：平安時代以降の窯跡調査を数多く手がけてきました。考古学的な調査・研究成果を踏まえ、時代を区切りながら企画展を開催し、窯業生産の歴史を伝えています。

「古瀬戸の成立と展開」（仮称）

会場：瀬戸蔵ミュージアム 特別展示室

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展）

内容：瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行います。

会場：瀬戸蔵ミュージアム 常設展示室

(エ) 歴史資料や発掘調査成果等の企画展示を行う事業（歴史・文化財企画展）

内容：「明治・大正の瀬戸の産業と工芸美術」、「加藤繁十展」

「新出土品展－紺屋田A窯跡とその周辺－」など

会場：瀬戸蔵ミュージアム 特別展示室

(オ) 文化財、史跡の見学会を行う事業（文化財見学会）

内容：文化財を対象とした見学と関連する出土品等もミニ展示し、紹介・解説を行います。

会場：市内文化財所蔵施設等

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

内容：文化財や歴史についての理解を深めるため、学校や市の行事等に職員を講師として派遣します。

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業

(1) 指定管理者として管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業

内容：指定管理者として管理運営を受託した文化センターを文化振興事業以外に利用する個人や団体などへ貸与する事業を行います。